

## 1. 教育目標

がんと診断された時からエンドオブライフにおけるがん患者の苦痛をコントロールする様々な方法を習得し、痛みの治療と様々な苦痛に対するケアが行える人材を養成することが目標である。その教育は、麻酔科学・疼痛制御科学講座、ペインクリニック部および緩和ケアセンターが連携して教育指導体制を構築し、緩和医療専門医、認定看護師、緩和薬物療法専門薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師が、実習、演習および講義を行う。

## 2. 到達目標

- (1) 実習では多職種が参加する緩和ケアチーム活動に参加することで、職種ごとに異なる視点や考え方を集約する過程を学ぶ。
- (2) 国際的な視野をもち、独創的な緩和医療学の研究を推進する。
- (3) 緩和医療学の臨床テーマについて基礎および臨床研究を計画し、指導者のもとでデータ収集を行なう。
- (4) 海外の研究者との交流も視野に入れ、海外学会での発表を行う。
- (5) 採取したデータの分析方法、統計学的手法を習得し、研究成果を学会および学術誌で発表する

## 3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

口頭試問の実施（20％）、研究成果の発表（50％）、臨床カンファでの発表（30％）

## 4. 教科書・参考書

- ・Oxford Textbook of Palliative Medicine
- ・Textbook of Pain

## 5. 準備学習

予習としては、関連文献で検索し、知識を整理して授業・実習に臨むこと。（1時間以上）

復習としては、講義内容を整理し、ノートなどにまとめておくこと。（1時間程度）

## 6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

## (第1学年・昼間開講)

## 【緩和医療学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実習	臨床研究 (1)	高雄臨床教授 佐伯助教	月曜/2・3 限	通年	4	緩和ケアセンター
実習	臨床研究 (2)	高雄臨床教授 佐伯助教	水曜/1・2 限	通年	4	緩和ケアセンター
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	廣瀬主任教授 佐伯助教	木曜/1限	通年	4	緩和ケアセンター
講義	緩和医療の基礎	廣瀬主任教授 高雄臨床教授	金曜/1限	半年	2	緩和ケアセンター

## (第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実習	臨床研究 (1)	高雄臨床教授 佐伯助教	月曜/6・7 限	通年	4	緩和ケアセンター
実習	臨床研究 (2)	高雄臨床教授 佐伯助教	水曜/6・7 限	通年	4	緩和ケアセンター
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	廣瀬主任教授 佐伯助教	木曜/6限	通年	4	緩和ケアセンター
講義	緩和医療の基礎	廣瀬主任教授 高雄臨床教授	金曜/7限	半年	2	緩和ケアセンター

## (第1学年または第2学年・共通必修講義)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	腫瘍学Ⅰ 基盤講義 (医療現場・学際領域)	阪神 5 大学サステナブルがん人材養成プラン教員	E-ラーニング	4月~ 7月	2	—
講義	腫瘍学Ⅱ 横断講義 (予防・研究開発)	阪神 5 大学サステナブルがん人材養成プラン教員	E-ラーニング	10月 ~1月	2	—

## (第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実習	臨床研究 (1)	高雄臨床教授 佐伯助教	月曜/2・3 限	通年	4	緩和ケアセンター
実習	臨床研究 (2)	高雄臨床教授 佐伯助教	水曜/1・2 限	通年	4	緩和ケアセンター
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	廣瀬主任教授 佐伯助教	木曜/1限	半年	2	緩和ケアセンター

## (第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実習	臨床研究 (1)	高雄臨床教授 佐伯助教	月曜/6・7 限	通年	4	緩和ケアセンター
実習	臨床研究 (2)	高雄臨床教授 佐伯助教	水曜/6・7 限	通年	4	緩和ケアセンター
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	廣瀬主任教授 佐伯助教	木曜/6限	半年	2	緩和ケアセンター